

D-ココセル寒天培地(DCO)

D-Coccosel Agar (DCO)

腸球菌及びD群レンサ球菌の選択

用途

D-ココセル寒天培地(胆汁エスクリン寒天培地)は腸球菌およびD群レンサ球菌の選択分離および鑑別に使用します(3)。

原理

腸球菌によりエスクリンが加水分解されるとコロニーの周囲に黒色ハローを形成します。アジ化ナトリウムによりグラム陰性菌の発育が阻害されます。胆汁により腸球菌以外のグラム陽性菌の発育が阻害されます(1,4)。

調整済み培地

REF 43151 平板培地 10枚(90mm) × 2パック
DCO*

*各シャーレに印字

組成

精製水中の組成(g/l)

カゼインペプトン(牛).....	17
肉ペプトン(牛または豚).....	3
酵母エキス.....	5
胆汁(牛または豚).....	10
塩化ナトリウム.....	5
クエン酸ナトリウム.....	1
エスクリン.....	1
クエン酸鉄アンモニウム.....	0.5
アジ化ナトリウム.....	0.25
寒天.....	13.5
	pH7.1

必要な器材

- ふ卵器

使用上の注意

- in vitro** 試験のみにおいて使用して下さい。
- 熟練者が使用して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性のあるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 本培地はアジ化ナトリウムを含みます。アジ化ナトリウムは鉛あるいは銅の配管と反応し爆発性のあるアジ化合金を生成します。アジ化ナトリウムを含む液体を配管に流す場合は、これを防止するため廃液は水で洗い流して下さい。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性であるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**: NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from Instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue, Approved Guideline – Current Revision» **操作留意事項**: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH - Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。

本培地を製造原料として使用しないで下さい。

- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- パッケージの損傷した製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地または水分の浸出している培地は使用しないで下さい。
- 性能試験は、この添付文書に従った使用方法にて得られた結果を示しています。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 試験結果の解釈は、患者背景、検体の由来、コロニー形態および顕微鏡学的形態を含めて考慮して下さい。また必要に応じて、その他の試験方法で結果を確認して下さい。

貯蔵条件

- 箱未開封の状態、2-8 下で保管可能です。
- 箱開封後セロファン袋中では、2-8 下で 2 週間保管可能です。

検体

あらゆる検体を使用することができます。また、検体は培地に直接塗布して使用して下さい。採取や輸送に関しては GLP(Good Laboratory Practices)に準拠し、検体の種別によって適切に処理して下さい。

使用法

- 培地を室温に戻します。
- 検体を塗布します。
- フタを下側にして 37 で培養して下さい。用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。また、検体の種類や試験される細菌によって培養時間は異なります。通常、24-48 時間培養後に結果の読み取りを行います。

判定

- 培養後、微生物の発育を観察します。
- 特徴的コロニーの存在を記録します: 腸球菌およびD群レンサ球菌のコロニーは無色あるいは灰色で、周囲の培地を黒変させます。
- 分離された細菌の同定は、生化学試験または免疫学的試験を実施して下さい。

品質管理

プロトコール:

本培地は、下記の標準菌株を用いて試験を行います:

- Enterococcus faecalis* ATCC29212

精度管理限界値:

使用菌株	33-37 での試験結果	
<i>Enterococcus faecalis</i> ATCC 29212	24 時間後に 発育	黒色のハローを伴う無色のコロニー

注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度、抗菌薬の選択等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

- 腸球菌およびD群レンサ球菌以外の属、特に *Listeria* やブドウ球菌などが本培地上に発育し、培地を黒変させることがあります。
- 発育の度合は微生物各個体の要求性により異なります。よって、腸球菌やD群レンサ球菌に属する菌のうち、特殊な要求性を有する菌株は発育しないこと場合があります。
- 検体や被検菌によっては本培地と非選択培地(コロンビア5%ヒツジ血液寒天培地等)を併用することをお勧めします。

性能

本培地の性能を、49株の細菌(腸球菌、D群レンサ球菌、その他のレンサ球菌、*Listeria* 属、その他のグラム陽性菌、グラム陰性菌)と1株の真菌(*Candida* 属)を用い、37℃の環境下で評価しました。

発育支持能:

試験した腸球菌/D群レンサ球菌のうち、26株が24時間後に発育し、特徴的なコロニーを形成しました。

選択性:

ブドウ球菌5株がコロニー周囲に黒色のハローを形成せずに発育しました。

試験した4株の *Listeria* 属のうち3株が発育し、特徴的なコロニーを形成しました。

その他の細菌と真菌は48時間まで発育を抑制されました。

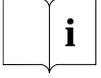
廃棄処理

使用済みもしくは使用していない試薬の廃棄は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って行って下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

- CHUARD C., RELLER L. B. – Bile-esculin test for presumptive identification of enterococci and streptococci : effects of bile concentration, inoculation technique, and incubation time. – J. Clin. Microbiol., 1998, **36**, n°4, 1135-1136.
- DORSON O., PINA P., PANGON B. et al. – Entérocoques : actualités en 2000. 1^{ère} partie : taxonomie, identification et résistance aux antibiotiques. – Feuilles de Biologie, 2000, **21**, n°234, 13-25.
- FACKLAM R. R., PADULA J. F., WORTHAM B. C. and al. – Presumptive identification of group A, B and D streptococci on agar plate media. – J. Clin. Microbiol., 1979, **9**, n°6, 665-72.
- ISENBERG H. D., GOLDBERG D. – Laboratory studies with a selective *Enterococcus* medium – Appl. microbiol., 1970, **20**, 433-436.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	有効期限
	ロット番号
	使用手順を参照
	試験可能数

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



日本ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階

<http://www.biomerieux.com/jp>



69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax133(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>

